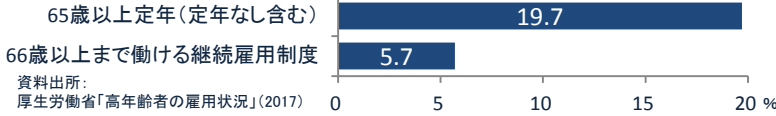


高齢者が生涯現役で働き続けられるよう、65歳以降の継続雇用延長促進など内部労働市場における取組を進めるとともに、個々のニーズに合った再就職支援や多様な就業機会の提供など外部労働市場における取組を進め、高齢者の就業に向けたあらゆるキャリアパスを整備する。

内部労働市場における取組（同一企業で活躍し続けられる取組）

■65歳以上まで働ける環境整備が必要



	導入済	検討中	予定なし
60歳代前半層を対象とした評価制度	26.3%	27.7%	37.4%

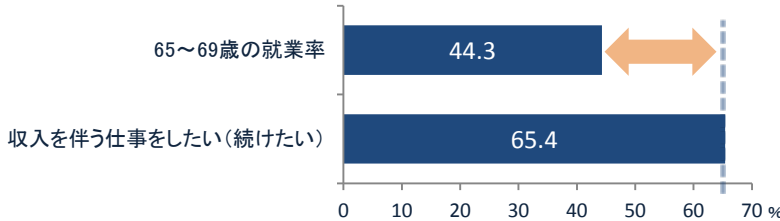
資料出所：JILPT「高齢者の雇用に関する調査（企業調査）」（2016）

■同一の企業で働き続けられる環境の整備

- 65歳以上まで働ける環境を整備するため、助成金による経済的支援と65歳超雇用推進プランナー等による技術的支援を組み合わせ、31人以上の企業12万社全てに対する提案型支援を展開
- 企業のシニア層のモチベーションの向上を促す評価・報酬体系の構築に係る好事例収集とその展開、雇用環境整備に係る支援

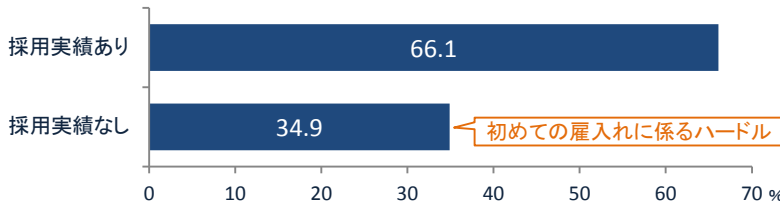
外部労働市場における取組（再就職支援・多様な就業機会の確保）

■高齢者の就業ニーズが叶っていない



■中高年齢者の採用実績が企業の採用意欲を左右

（積極的に採用したい、いい人がいれば採用したいとした割合）



■多様な就業機会の提供による就業ニーズの実現

- 働く意欲を有する高齢者の就業実現に向けた行動を後押しすべく、在職中からのセカンドキャリア設計支援、特設窓口設置による就業希望者の取り込み、高齢女性への戦略的広報等を全国的に展開
- ホワイトカラー職種で働いていた高齢者のニーズに合った就業機会の開拓強化

■高齢者を採用する企業に対する支援強化

- 初めて中高年齢者を採用する企業に対する助成金の拡充
- 企業のシニア層のモチベーションの向上を促す評価・報酬体系の構築に係る好事例収集とその展開、雇用環境整備に係る支援【再掲】

■それぞれの地域における就業促進に向けた取組

- 65歳以上の再就職を支援するハローワークの専門窓口を増設【180か所⇒300か所（平成32年度）】
- 地方自治体等の創意工夫を生かした地域の雇用就業機会を創るネットワークの拡充【49か所⇒100か所（平成32年度）】